



# ゴロスケ報々



## ●望年会●

## 友の会行事のお知らせ

恒例の「望年会」が下記の通りに開催されます。

今年最後のイベント、暮れの忙しいときですが、奮ってご参加ください。

1. 開催日 : 平成29年12月23日(土曜日・祝日)
2. 会場 : 観察センター&ゴロスケ館前
3. 集合 : 9時
4. 対象 : 友の会会員および その家族
5. 服装、持ち物 : 多少よごれてもよい服装、飲み物、軍手

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

日時 2017年11月19日(日) 9:00~10:30  
出席者 青木、秋元、今村、大浦(議長)、落合、篠原、関根(書記)、高橋、高柳、谷垣、中里  
西山、村松、山口、吉田、渡部

**議題****1. 行事報告**

9月中旬から11月上旬の行事・活動の報告をしました。

9月16日に予定されていたZFC担当の「森の作業体験」、10月21日に予定されていた畑PJ担当の「畑と作物を作ろう」、10月22日に予定されていた「横浜自然観察の森まるごと体験」は雨天のため中止させていただきました。

11月4~5日に予定されていたハンミョウの会担当の「自然案内人講座」は、期日までに参加申し込みがなかったため、中止しました。

その他の行事は予定通りに実施されました。

※予定されていた行事が中止になった場合は、保険の関係でその月のうちに青木さんまでご連絡ください。

**2. 行事予定**

12月上旬から2月までの行事の確認を行いました。

**3. 各PJの活動報告と活動予定の確認を行いました。****4. ごろすけ館の利用調整を行いました。****5. 事務局より**

- ・新年度計画、今年度のまとめを、各PJのPMのかたにお願いしました。
- ・新年度の「森を守るボランティア体験」の担当PJのお願いをしました。
- ・金沢区いきいきフェスタ、栄区区民まつりの報告をしました。

**6. センターより**

「観察センターだより」のページをご覧ください。

**〈次回の定例会〉**

次回定例会は、1月21日(日)9:00~ 観察センター研修室

※定例会は会員の方どなたでも参加できます。

**定例行事の報告****●自然と遊ぼう 活動報告●****11月の「自然と遊ぼう」**

今月のテーマは「はっぱのいろいろ」です。

まず、ごろすけ館で以前の作品「はっぱのこすりだし」や「はっぱでお絵かき」などを見てから落ち葉拾いに出かけました。

生態園をぐるりと一周して、お気に入りの落ち葉を見つけました。

さあ、ごろすけ館に戻って作品に差し掛かると、それぞれの色や形で、中には小さな葉っぱから巨大落ち葉まで集めた植物図鑑まで仕上げた子もいました。

こすりだしでは外形だけでなく葉脈もはっきりと描き出したり、小枝に落ち葉を吊るしたモビールを作ったり、手作りの天秤でどんぐりの数や落ち葉とでバランスをとったりして「はっぱのいろいろ」をいろいろ楽しんだ時間でした。

1回目13:00~子供2人、大人3人

2回目14:00~子供11人、大人6人

の参加でした。

## ●11月理事会報告●

日時 2017年11月19日(日) 10:50~12:15

出席者 青木、秋元、大浦、落合、志釜、関根、谷垣、中里、中塚、西山、村松、吉田、山口、掛下R、尾崎R (欠席:漆原)

### 1 中間報告

- ・事業(まるごと体験が台風で中止となるなど雨の影響が多かったが他は計画通り実施。栄区民祭にも参加)及び会計(例年通り)について中間報告がありました。

### 2 次年度事業方針

- ・総会・望年会の日程(4月1日、12月22日)を決めました。
- ・まるごと体験は30周年記念講演等に替え10月21日を第1候補に調整することとしました。

### 3 長期目標&30周年準備

- ・課題整理(台風延期でWS日程再調整)、イベント(4か月前PRにつき5月までに詳細確定)、記録誌(会員・関係者向けとし配布はイベント開催日にこだわらない)、記念品(継続販売品ではなく会員・参加者向け)、助成対象外のため会の会計で賄う、など基本方針を確認しました。
- ・各部会で次回までに詳細検討し、次年度計画に反映させることになりました。

### 4 安全管理

- ・次年度講習会はレスキュー講話(周辺の救急救命体制や事例等)で調整します。
- ・事故等なし。

### 5 その他

- ・天候不順が続くため行事(望年会)の雨天対応を確認しました。

### <次回理事会>

日時 1月21日(日) 11:00~12:30

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 次年度計画
  - 2 30周年準備
  - 3 定期総会準備
  - 4 安全管理
  - 5 利用推進会議(後期)
  - 6 その他

森のこぼれ話  
ふむふむ

ぼっぼく  
伐木

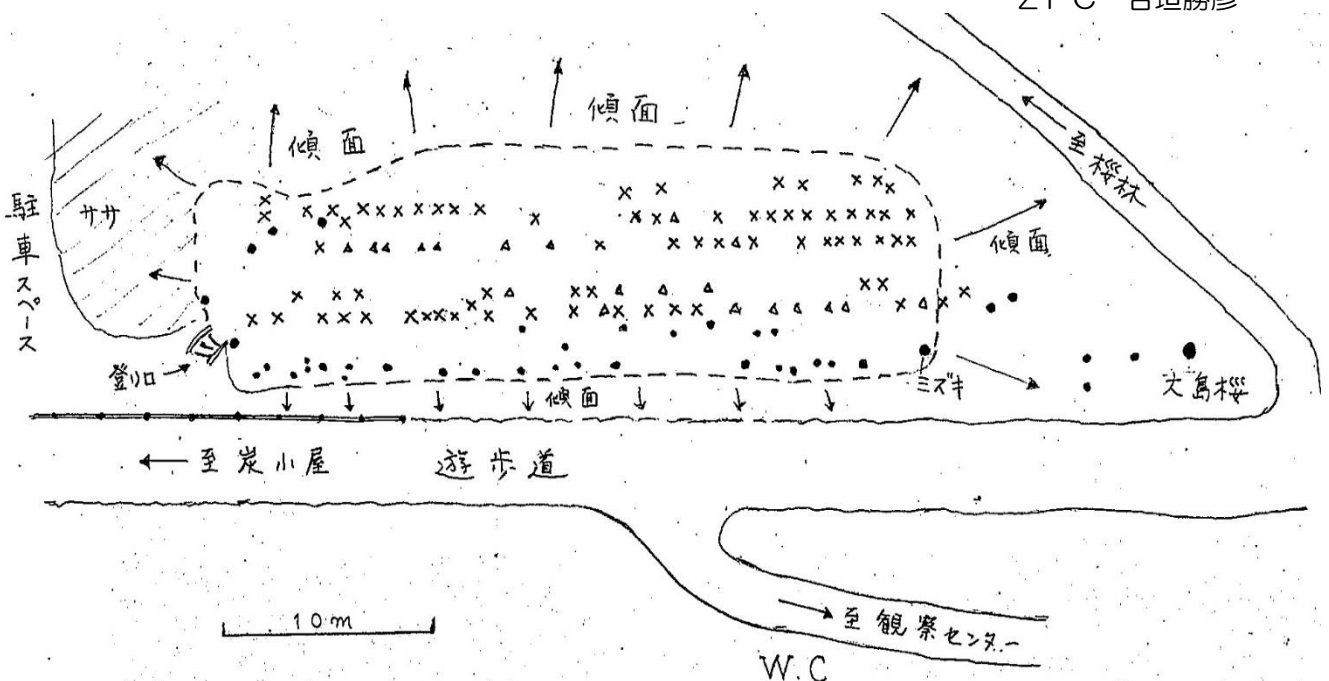
雑木林ファンクラブは、森の保安全管理の一環として伐木を行っています。先日、チェーンソーの講習会に参加しましたところ、厚生労働省から「死亡事故撲滅に向けた緊急要請」が関係事業者にてでっており、今年8月までの勤務中の死亡者数が対前年比49人の増加、休業4日以上死傷者数がなんと対前年比600人増加しているそうです。伐木のプロである林業従事者の事故率は建設業や製造業など全産業と比較してなんと15倍になっているそうで、毎年改善されていないそうです。昨年の林業の死亡事故は全41件、そのうち伐倒作業中が25件も発生しており、その発生状況は「木の下敷き」や「木に挟まれた」とか「材が跳ね上がって激突した」など悲惨な内容で、頻度や作業量は少ないが同様の作業をする者として、改めて伐木が危険な作業であることを認識させられました。

雑木林ファンクラブが受け持っている保安全管理区域は、クヌギの林、炭小屋裏斜面林（管理区域4区、9区）、トイレ前の林（管理区域7区）、ミズスマシの池上の林の4区域です。「横浜自然観察の森保安全管理計画」に則り保安全管理の伐木を行っています、その内「トイレ前の林」の例を紹介します。

この林は遊歩道に沿って一段高くなっており、樹が一行に1m程の狭い間隔で密集して生えているがなぜだ??自然ではありえない!恐らく捕植のために苗木を植えて間引きせず成長してしまったのではとのこと。この林は明らかに人工林であり、保安全管理計画には「人工林は徐々に自然植生に変えてゆく方向で検討する」となっていることから、レンジャーと協議の上、下図の保安全管理計画図の通り進めていきます。●印の遊歩道側に一行に生えているイヌシデ、ミズキ、オオシマザクラなどの40本は残し、その内側の×印のスタジイ、アベマキ、トウネズミモチなどの72本は全て伐木し、下草刈りを定期的に行い自然の植生による林への変化を目指します。

ここは伐木作業を行う林の中で唯一遊歩道が近く、近場で伐木作業の見学が可能です。危険な場合は通行止めにする場合がありますが、伐倒方向が沿道にならない場合は通行止めにはしませんので、来園の際、ぜひ我々の伐木作業の雄姿を見てください。

ZFC 谷垣勝彦



管理区域7区保安全管理計画図 (●印 残す ×印 除伐する △伐倒済切り株) h29年8月調査

## 友の会行事のお知らせ

### ●「みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ」に参加しよう●

横浜自然観察の森友の会の30周年に向けて、会員の皆さんには7月下旬にアンケート調査のお願いを致しました。これを踏まえ、9月17日にワークショップの開催を予定していましたが、台風の影響で中止となりました。

代替の日程については、10月のゴロ報で速報しましたが、改めて以下の通りご案内します。

会員の方ならどなたでもご参加いただけます。ぜひ交流と意見交換の輪に入ってください友の会のこれからの方向性や具体的アクションなどの計画づくりにご協力をお願いします。

日時：1月21日（日）13時～16時30分（受付開始12時30分） 雨天実施

場所：横浜自然観察の森 自然観察センター 研修室

内容：

- ・オリエンテーションと自己紹介
- ・アンケート結果のフィードバック
- ・ワークショップ「友の会これからカフェ」
- ・まとめ

持参するもの：筆記具

### ●森の作業体験「伐倒」の体験をしよう！●

日時：2月17日（土）10：00～14：00

集合場所：横浜自然観察の森（栄区）内 炭小屋

対象：小学生以上30名（1月8日から受付、申込順）小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装（長袖長ズボン）、スニーカー・帽子・軍手・汗ふき用タオル・昼食・飲物

雨天：前日18時30分以降の天気予報で降水確率50%以上は中止です。

申込：2月9日（金）までに、下記に電話、FAX か eメールをお送りください。

参加者全員のお名前（子供さんは年齢）、連絡先の電話番号か FAX 番号又はメールアドレスをお知らせ下さい。

申込 TEL:045-894-7474（9:00～16:30 月曜休館） FAX:045-894-8892

メール：kansatsunomori@gmail.com

当日、木工体験（コースター作りなど）もできます。

担当：横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ

### ●はじめてのバードウォッチング ～初心者のためのバードウォッチング講座～●

バードウォッチングをしてみたいんだけど、何が必要なのか、どこへ行けば鳥が見られるのか、どんな鳥が見られるの、などなど「バードウォッチングに興味があるんだけど、わからないこともあって・・・」そんな方を対象にバードウォッチングの基本を学び、実際に森を歩いて野鳥を探します。

友の会会員の方も、ぜひ。

主催 横浜自然観察の森友の会 担当 鳥のくらし発見隊

日時 2018年2月25日（日）9：15～14：00 センター研修室集合

対象 小学4年生～大人 30名募集

申し込み期間 1月11日～2月18日（先着順）

申し込み メール kansatsunomori@gmail.com まで

- ①イベント名と日時
- ②参加者全員の名前と年齢
- ③代表者の緊急連絡先（携帯電話など）
- ④このイベントを何で知ったか を書いて送ってください。

## 【報告】★保全管理フォローアップの会 第4回★

11月3日(金・祝) 13:00~16:00 検討会「ピクニック広場の草地を考えよう」

○講師：中村幸人先生(東京農業大学元教授)

○参加者 友の会8名(石川裕一さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、中里幹久さん、八田文子さん、村松古明さん、吉田賢一さん、渡辺克哉さん)、レンジャー(掛下尚一郎、黒川麻紀野)

○内容 朝比奈調整池の耐震工事によって裸地化したピクニック広場を、ススキやオギを主体とした草地に戻すため、中村先生をお招きして検討会をおこないました。

はじめに、ピクニック広場の目指す環境を参加した皆さんと事前に募集した意見をもとに意見交換しました。その結果、工事前のように大きく3つのエリアに分け背丈の異なる草地にすること。保全管理計画に則ってススキやオギなどのイネ科草本を主体とした草地にすること。利用目的によって南東エリアは低い草地を維持し団体利用や将来的に車いす利用ができるように管理することとなり、残り2つのエリアは生きもの利用を優先した管理をすること、などを確認しました。

その後の現地視察では、なぜ工事後にブタクサ(外来種)やシロザなどの一年生草本がたくさん生えてきたのか、その理由を中村先生の経験からひも解いていただきました。工事によって鉄板の敷かれた箇所が掘り返され30年以上眠っていた草本の種子が発芽したためであることがわかりました。また、これら一年生草本の今年できた種子は休眠にはいり来年は発芽することはおそらくないこと。来年以降、越年草本や多年生草本が出てくること。ススキやオギを育てるためには貧栄養の土地にするため刈り取った草は外に搬出すること。園路や草地の広場同士の境はロープを張った上で草を刈り残したり低木を移植したりする、といったご示唆を頂きました。

今回出たご意見をもとに、12月以降草刈りや植栽といった管理作業を進めてまいります。これからのピクニック広場の環境変化にも注目してみてください。

## 【募集】★保全管理フォローアップの会 第5回

1月20日(土) 13:00~16:00 保全管理フォローアップの勉強会

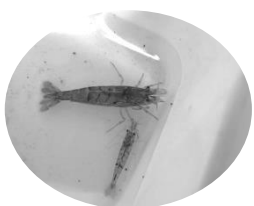
テーマ「あの鳥たちはどこへいった? 観察の森の鳥たちの30年 パート2」

講師：藤田 剛さん(東大・助教)

「観察の森」で30年つづけてきたラインセンサス調査の解析から、ホオジロなどの草原を好む鳥たちが減っていることが明らかになりました。森が中心の保護区である「観察の森」で、草原の鳥たちを守るためにできることには、何かあるのでしょうか。そして、そのためにはどのような調査が必要になるのでしょうか。前回と同じように、講義のあとにワークショップ形式で、鳥の調査を環境管理に役立てるプロセスを実習しようと思います。環境管理に興味のある方、鳥の生態やその調査に興味のある方、どうぞお気軽にご参加ください。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か黒川までご連絡ください。

## 【募集】生きもの講演会「源流域の侵入者 淡水性外来エビを知ろう」



水の中の外来種といえば、ウシガエル、アカミミガメ、ブラックバス……。小さなものとメダカやホタル(ともに国内外来種)でしょうか。今回はエビの仲間に注目。横浜自然観察の森に「カワリヌマエビ」という外来エビが侵入していることを知っていますか? 講演会では横浜市内の河川や池に侵入したこの外来エビの現状や、在来種に及ぼす影響などを学び、源流域での定着状況などを、調査体験をとおして知ります。

2月12日(月・祝)に開催。詳細は裏表紙のイベント案内をごらんください。

## 【報告】「横浜自然観察の森調査報告 22」を発行

観察の森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 22」が完成しました。日ごろの記録を地道にまとめてくださっている皆さんのおかげで166ページにわたり31本もの投稿を掲載することができました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。今号も各プロジェクトに1部ずつ差し上げていますので、ぜひご覧ください。

## 【報告】横浜つながりの森を歩こう

11月26日(日)に港南台から観察の森まで、緑地を縦断するイベントを開催しました。このイベントは観察センターの、円海山・大丸山緑地のウェルカムセンターの機能としての試みです。雨天のため延期日での開催で、15名が参加しました。広大な森の、2つの源流域の保全活動に注目し、瀬上沢では中塚隆雄さん、観察の森では奴賀レンジャーによるガイドツアーを行いました。参加者からは「一人ではなかなか歩けない場所だったのでよい機会だった」「たくさんの解説を聞いて良かった」「また違う季節にも歩きたい」といった感想が聞かれました。



ボランティアさん

\*\* 10/1~11/30 \*

ありがとう



- 10/1~ カワセミファンクラブの皆さん  
〔展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供〕
- 10/1~ 野草の調査と保護プロジェクトの皆さん〔開花情報のご提供〕
- 10/4 雑木林ファンクラブのみなさま〔団体対応へのご協力〕
- 10/8、11/12 鳥のくらし発見隊のみなさま〔野鳥情報の提供〕
- 10/14、21、28、11/11、29 雑木林ファンクラブのみなさま〔ストーブ用薪の提供〕
- 10/25 雑木林ファンクラブのみなさま〔企業CSR活動用の支柱の作成〕
- 10/27 カワセミファンクラブ 水上重人さん〔企業CSR活動対応へのご協力〕
- 11/4 雑木林ファンクラブ 武田正人さん〔紙芝居の拍子木の寄贈〕
- 11/10 大浦晴壽さん、石川裕一さん 中里幹久さん、今村修さん〔アライグマの捕獲罠設置へのご協力〕
- 11/11 中里幹久さん、吉田賢一さん、鈴木昭司さん 田中さん親子 栄区民まつり出展へのご協力
- 11/18 雑木林ファンクラブ 武田正人さん〔観察センターのウェルカムボードの修理〕
- 11/26 中塚隆雄さん、今村修さん〔イベント「横浜つながりの森を歩こう」へのご協力〕
- 12/2、3 上原明子さん、中里幹久さん、小杉慶子さん、石川裕一さん〔幼児イベントへのご協力〕



イラスト：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892  
E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

年末年始のお休み

2017年12月28日(木)~2018年1月4日(木)は休館日です。  
旧年中は大変お世話になりました。新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。



# 行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

- 望年会 →1ページ参照  
12/23(土・祝) 9:00～  
対象：友の会会員およびその家族
- みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ →5ページ参照  
1/21(日) 13:00～16:30
- 森の作業体験 →5ページ参照  
2/17(土) 10:00～14:00  
申込み：2/9(金)まで(先着30名)
- はじめてのバードウォッチング →5ページ参照  
2/25(日) 9:15～14:00  
申込み：2/18(日)まで(先着30名)

## ●自然観察センター主催行事●

### ■親子でバードウォッチング

1/28(日) 10時～13時半(雨天決行)  
対象：6歳～中学生とその保護者30名(抽選)  
申込締切：1/15(月)

### ■森の生きもの講演会「源流域の侵入者 淡水性外来エビを知ろう」

2/12(月・祝) 10時～15時  
対象：中学生以上 40名(抽選)  
申込締切：1/29(月)

上記2イベントは申込項目を明記の上、メール・FAX・往復はがきでお申込ください。

#### <申込事項>

- ①イベント名と日時
- ②参加者全員の名前
- ③お子様の年齢
- ④代表者の連絡先電話番号
- ⑤FAXの時はFAX番号、往復はがきの時は返信先住所氏名
- ⑥情報源：ゴロ報

※自然観察センターの連絡先は7ページに記載

発行日 2017年12月17日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
FAX 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●共催行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜  
～友の会の活動内容紹介とルールを～  
2/18(日) 9:30～14:00 雨天催行  
受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴  
\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

## ●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)  
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
1/7(日)・2/4(日)  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)  
～のんびり楽しむバードウォッチング～  
1/14(日)・2/11(日)  
9:00～13:00 少雨決行  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

- 森の絵本を楽しもう  
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～  
1/17(水)・2/21(水)  
10:30～12:00 絵本作製  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

- 畑と作物をつくろう  
～生き物にあふれた畑を目指して～  
1/20(土)・2/17(土)  
10:00～12:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)  
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
1/27(土)・2/24(土)  
1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜